

研修8 音声指導について①

○研修のねらい

「研修8」では、「音声指導で取り扱う内容」や、「歌やチャンツの効果と活用における留意点」について理解するとともに、歌やチャンツ等音声指導に関わる活動を体験することを通して、授業での音声指導について学びます。

音声指導で取り扱う内容

小学校学習指導要領解説 外国語編では、「2 内容〔知識及び技能〕(1) 英語の特徴やきまりに関する事項 ア 音声」において、取り扱う事項として、下記の5点が示されています。

1 現代の標準的な発音

多様な人々とのコミュニケーションが可能となる発音を身に付ける。

- ・ cat の母音や math の th の子音など日本語の発音にはない母音や子音があること。
- ・ 日本語と英語の音声の特徴や違いに気付かせること。例えば singer や easy などの語の /si/ や /zi/ を、日本語の「し」や「じ」と同じように発音しないように注意すること。

2 語と語の連結による音の変化

一語一語を切り離して発音せず、複数の語を連続して発音することが多い。

- ・ 2語が連結する場合 I have a pen. (have と a が連結)
- ・ 2語が連結するとき、一部の音が脱落する場合 Good morning. (/d/ が脱落)
- ・ 2語が連結するとき、二つの音が影響しあう場合 Nice to meet you. (/t/ と /j/ が /tʃ/ になる。)

3 語や句、文における基本的な強勢

英語の語や句には強く発音される部分とそうでない部分がある。英語特有のリズムを理解する。

- ・ 語→ apple ・ 句→ on Monday ・ 文→ Where do you go? I go to school.

4 文における基本的なイントネーション

英語の文には文がもつ基本的なイントネーションがある。

- ・ 平叙文や命令文、疑問詞を用いた疑問文は下降調

Go straight. ↘ Where do you want to go? ↘

- ・ yes-no 疑問文や言葉を列挙するときは上昇調

Are you a baseball player? ↗ I like English, ↗ Japanese, ↗ and math. ↘

5 文における基本的な区切り

文の構成や意味のまとまりを捉えて区切りながら話す。

※過度に意味のまとまりを意識させて区切らず、表現に繰り返し触れさせることによって気付きを促す。

歌やチャンツの効果と活用における留意点

歌やチャンツの効果

- ・英語らしいリズム感、イントネーションを学ぶことができる。
- ・学習への興味を促す。
- ・声を出すことの抵抗感をなくす。
- ・繰り返し練習する機会を確保する。

歌やチャンツの活用における留意点

- ・できるだけ簡単な表現の歌を扱う。
- ・簡単なリズムから始め、繰り返しが多いものを利用する。
- ・自然な発音、イントネーション、リズムのものを利用する。
- ・教師や児童による替え歌やチャンツも積極的に利用する。
- ・1フレーズごとに繰り返して歌う練習をする。



外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ

児童は、日本語と外国語との音声の違い等に気付くことから、日本語とは違う外国語のリズムや発音等をより楽しみながら発音することになります。そこで以下の点に留意し、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませ、自信をもって言語活動に取り組みさせることが大切です。

- 1 英語を話す際は、英語のリズムに慣れることが肝要です。日本語のような話し方にならないようにするためには、音声教材を模倣することが重要です。正確さにこだわらず、流れてくる英文をそのまま似せて発音するようにします。英語らしいリズムで言えるようになったら、母音・子音に注意して発音するようにします。
- 2 英語らしいリズムで話せるようになったら、相手に聞きやすい話し方を意識しながら少し長い文をリズムや音の強弱をつけて話してみます。
- 3 例文だけでなく、覚えている表現を組み合わせたり、一部を入れ替えたりして自分の言葉にするコツをつかんでいきます。最初は英文の質にこだわらず、積極的に英語を口にすることが上達の秘訣です。



研修8 音声指導について①

○事前に準備する物

- ・歌やチャンツのCD、DVD等
- ・歌詞カード
- ・ICT機器
- ・研修8「解説編」(P46、47)

○研修の留意点

- ・歌やチャンツの体験の際、発表場面を設けるなど、教師が主体的に取り組めるように意識すること。
- ・ICT機器を効果的に活用し、研修の充実を図ること。

○研修例(45分)

時間	研修項目	研修内容	使用する物
15分	○音声指導で取り扱う内容及び具体的な指導方法について理解すること。	○ウォームアップを行う。 ○研修のねらいを伝える。 ○音声指導で取り扱う内容について説明する。 ・現代の標準的な発音 ・語と語の連結による音の変化 ・語や句、文における基本的な強勢 ・文における基本的なイントネーション ・文における基本的な区切り	・本書P46、47
10分	○歌やチャンツの効果について理解すること。	○歌やチャンツの効果及び利用する際の留意点について説明する。 ・歌やチャンツの効果 ・歌やチャンツを利用する際の留意点	・歌やチャンツのCD、DVD ・歌詞カード ・ICT機器
17分	○歌やチャンツ等、音声指導に関わる活動を体験すること。	○歌やチャンツを通して、英語らしい発音やリズムを体感する場を設ける。	・歌やチャンツのCD、DVD ・歌詞カード ・ICT機器
3分	○研修を振り返ること。	○授業でどんな歌やチャンツをやってみたいかなど授業で生かせることについて共有する。	

○研修例（15分）

時間	研修項目	研修内容	使用する物
4分	○チャンツについて理解すること。	○研修のねらいを伝える。 ○チャンツの概要を知る。	・ 本書P 46、47 ・ チャンツのCD、DVD ・ 歌詞カード ・ ICT 機器
11分	○チャンツを体験すること。 (例) “What color do you like?”	○チャンツを紹介し、「全員」、「ペア」、「グループ」等、人数の形態に変化をもたせて体験させる。 ・ チャンツを聞く。 ・ 手拍子をしながら聞く。 ・ チャンツをする。 ・ 役割分担をしてチャンツを行う。 (A：赤 B：青 C：赤と青 D：What～?)	

※歌やチャンツの例

歌 “Hello song”

Hello. Hello. Hello, how are you?
I'm fine. I'm fine.
I hope that you are, too.

歌 “Good-bye song”

Good-bye, good-bye, see you again.
Have a good time, have a good time.
Good-bye, good-bye, see you again.

チャンツ “What color do you like?”

What color do you like?
I like red.
I like blue.
I like red and blue.

What color do you like?
I like green.
I like yellow.
I like green and yellow.

